



あびら地域公共交通便り

～安平町地域公共交通網形成計画の概要版～

第4号

【編集・発行】安平町企画財政課企画グループ



この計画が目指すもの

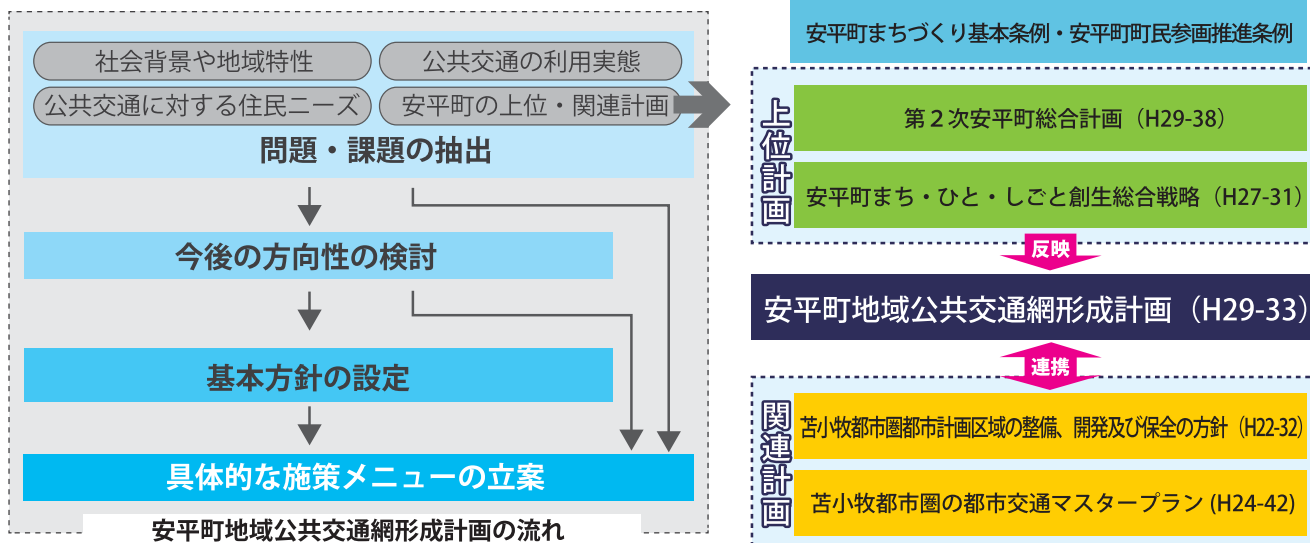
日本全体が人口減少局面に入っているなか、安平町も経年的に少子高齢化が進行している状況です。人口減少対策により緩和を図っていますが、今後もその傾向が続くことが予想され、公共交通でしか移動できない町民の増加が想定されます。

安平町内の公共交通はJR・路線バス・デマンドバスなど、小さな町でありながら多岐にわたっている一方、利用者の少ない便や経路が重複している区間などがあり、既存の公共交通を活かして、交通事業者の共存や費用負担とのバランスも加味した最適なサービスの検討が必要です。

安平町では、このような状況を踏まえ、まちにとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする基本計画として「安平町地域公共交通網形成計画」を策定しました。

この計画には、今後さらに検討や推進を図る施策メニューも盛り込んでおり、既存の公共交通をより効果的に機能させ持続可能な交通体系を構築し、地域住民の足を確保するだけでなく、他のまちづくり施策とも一体となって利用促進を図ることで、住みよいまちづくりを目指していきます。

計画策定の流れと上位計画や関連計画との位置づけ



計画の策定まで

計画策定に当たっては、公共交通に係る各種調査に加えて、策定経過に関わる情報発信、庁内検討委員会・地域公共交通会議による協議など、多様な検討を行ってきました。

主な実施内容

JR・バス利用実態調査（乗降調査）を実施
地区別意見交換会を実施（全4回）
住民アンケートを実施（病院・食料品店などで実施 計213名）
あびら地域公共交通便りの発行（広報紙面・全戸配布 全4回）
計画策定に係る庁内検討委員会での検討（全5回）
地域公共交通会議での検討（全3回）
計画(素案)に関する町民意見の募集（結果:意見提出なし）
計画(案)に関するパブリックコメント実施（結果:意見提出1件）

無料巡回バスが交通事業者の経営を圧迫し、撤退問題に発展した過去があります。鉄道・民間バス・ハイヤーが撤退して困らないよう、共存できる解決策を見出していきたいでしょう

昔の無料巡回バスを復活して！

デマンドバスの運賃が高い！

